

長崎県・「長崎－上海航路」で観光復活へ

～縣市、民間で多様な取り組み～

日本不動産研究所 長崎支所
不動産鑑定士 萩野 和伸

長崎－上海航路の復活

2年前、大河ドラマ「龍馬伝」に沸いた長崎は、震災後外国人観光客減少の打開策に、日中国交正常化40周年の友好の船として、長崎市と中国・上海市を結ぶ国際航路を14年ぶりに復活させ、貨客船「オーシャン・ローズ」による運航を開始した。運航するのは、ハウステンボスの子会社・HTBクルーズ。長崎－上海を28時間半で結び、最も安い運賃は食費込みで7,800円程度。船内では電化製品や健康グッズの販売、ライブミュージックショー、マジックショー、カジノに加え、太極拳、変面ショー、マグロの解体ショーや和太鼓演奏など、日本や中国文化が楽しめるステージメニュー。



「国際航路の貨客船『オーシャン・ローズ』」

増える国際クルーズ船寄港・・・新たな長崎観光の幕開け

クルーズ船の寄港実績は下表のとおりで、客船の大型化もあり増加傾向を示す中、行政団体・地元商店街等の観光客誘致の取り組みを紹介する。

クルーズ船の寄港実績

年	寄港船隻(外国籍)	乗船客数
2009	49(47)	38,897人
2010	54(39)	57,754人
2011	21(17)	24,445人
2012	65(1)	約60,000人台(推定)

「長崎県土木部港湾課ホームページ及びヒアリング」のデータを基に作成

◆長崎県：国際ゲートウェイを目指す「アジア・国際戦略」

「東アジア重点市場観光客誘致強化」、「国際人材育成・活用」、「アジアの環境問題への貢献」などのプロジェクトを各市町や関係機関等と連携しながら進める。

【中国人観光客受入に対する取り組み事例】

- ・外国人観光客受入施設グレードアップ推進事業
- ・通訳ガイドの確保、「おもてなし」サポート事業
- ・中国側旅行社への旅行商品企画支援
- ・中国語版フリーペーパー、ガイドブックの作成など

【CIQ機能を強化した施設の完成】

長崎港松ヶ枝国際ターミナルビル第2ビル内に、CIQ(税関、出入国管理、検疫)機能を強化した施設が完成し、入国手続きの大幅な短縮を可能とした。

◆長崎市：「アジア・国際観光戦略」

- ・「和華蘭」の「歴史的」観光資源、日本三大夜景稲佐山を代表とする長崎の夜景、軍艦島、五島灘に沈む雄大な夕日など、外国人にとって魅力的となりうる「いま」の観光資源PR
- ・「さるく」という新しい観光スタイルを提案・実践、「まち歩き」の産業化
- ・医療観光や産業観光などテーマ型ツアーに対応していくための産学官の連携
- ・医療通訳養成への支援や滞在型メディカルツーリズムのための観光資源の整備

◆民間の取り組み：「街づくり会社」による浜の町商店街での活動

中国を中心に外国人観光客の受け入れ体制強化などに取り組む「街づくり会社：長崎サービスアンドディベロップメンツ（NSD）」

【取り組み事例】

- ・多言語対応のコールセンター（東京）を利用した通訳サービスの導入
- ・日中2カ国語で長崎を紹介するクーポン付きフリーペーパーの定期発行
- ・各店舗でのクレジットカード・デビットカード・電子マネー・銀聯カードの決済を一元化した共同決済システム
- ・駐車場空き状況配信システム、WEB事業など
- ・中国人観光客には通貨の持ち出し制限があるため、銀聯カード（日本でのデビットカードのようなもの）を発行。平成21(09)年実績で長崎寄航の中国人観光客の58%、22,000人余りが浜なまちを訪れ、1億円以上の買物を楽しんだ。



「中国人観光客を歓迎する商店街」

◆佐世保市：上海地区からの観光客誘致と航路の利用促進PR事業

オーシャンローズ船内・上海市内でYOSAKOI 演舞、九十九島の空撮映像を放映している。

斜面景観の危機：斜面地の保全・歴史的建造物等の保存が急務

◆斜面地から平地への移動が進行中

斜面地居住の高齢者が平地のマンションに移動したり、空き家のままで放置された倒壊寸前の老朽家屋、あるいは原野化した土地が目立ち始めたことから、夜の民家の明かりも減り夜景の景観が変わりつつある。また、市内中心部での超高層分譲マンションの増加により海側から見る昼間の斜面景観にも支障が生じ始めている。

長崎市は、斜面地の道路整備事業を実施しているが、不在地主が多く、事業に対する合意形成も得にくいなどから、同事業の進捗度は遅い。また、斜面地は小規模画地が多いため、地区外移転の土地が多くなり、道路が新設されても斜面地に残留できるケースは少ない。そこで、道路整備事業と並行して、斜面地に平坦な土地を創出させ、そこに被買収地権者を移転させるなど、斜面地から居住者が流出しないような方策を講じて斜面地の保全を願いたい。

◆歴史的建造物群の損失

東山手・南山手の斜面地に伝統的建造物群保存地区があるが、同地区内の建物は民間所有が多いこともあり、維持管理等が不十分で保存状態は悪く、重要な歴史的建造物の価値損失は大きい。

外国人観光客の増加を目標に掲げる長崎県・長崎市は、早いタイミングで長崎観光の顔となる歴史的建造物群の保存及び斜面地の保全を図っていただきたい。